

クラブOB会だより

平成21年度野球部OB会と親睦試合観戦記

伊藤 潔(昭59)

11月も終わろうかという28日の土曜日に恒例の長葉野球部OB会が開催された。場所はいつもの江山楼浦上店。例年より少し遅れたことの影響もあったのか、参加者はやや少なめの60名。時勢を反映してか、「新型に感染してしまったので欠席します」という内容の急な連絡も入ったためであるが、40名のOBと20名の現役部員が楽しく語り合うことができた良い会であった。昭和31年卒の重鎮、今泉先輩の乾杯の挨拶に始まった会は、同級生

はもちろんのこと、卒年の近いOB同士だけでなく、OB会でしか会ったことのないOB同士や現役部員とOBとの笑い声のあふれる憩いの場となり、アルコールの量の増す毎にその笑い声も高くなっていった。1年生にとっては初めてのOB会であり、将来のOBとして学年を超えたつきあいをしていく第一歩を踏み出してもらったのではないかと勝手に思っている次第である。



40名のOBのうち、昭和年代卒が13名と平成年代卒が27名という割合はここ数年変わらず、遠く東京から駆けつけてくれた5名のうち4名は平成年代卒。平成パワーを強く感じる会であった。恒例となっている今泉先輩からの準硬式ボールの贈呈を終えた会場は、会の山場である翌29日のOB戦のOB側先発メンバーの発表へと進んだ。ピッチャーから順に先発メンバーへの立候補方式が採用され、参加者の賛同を勝ち取った以下のメンバーがステージ上に集合し、現役打倒を目指し気合いを入れた。ピッチャー：今泉貴世志(昭31)、吉田研次(昭37)、吉



田泰史(昭55)、キャッチャー：田中博隆(平11)、ファースト：坂田真人(平15)、セカンド：岡 泰由(平15)、サード：原 正朝(昭60)、ショート：平川善章(昭63)、レフト：森本 仁(平5)センター：中島敏樹(昭57)、ライト：近藤雅也(昭61)。

最後は、東京より駆けつけてくれた川端、鈴木、永川、徳田の平成卒4氏と昭和の代表として川崎より参加してくれた昭和60年卒の原氏に万歳三唱をお願いし、笑いも交えて会を締めくくってもらった。





親睦試合（OB 戦）観戦記

前日の天気予報は午後からくもりで、午後からは雨との予報。案ずるより産むが易しとでもいったら良いのか、晴れ間の覗く日曜日は気温も良い感じで、絶好の野球日和とあって良かった。試合は浦上天主堂を仰ぎながら予定通り10時に医学部のグラウンドでプレーボール。守備順がそのまま打順でOBが先攻のパターンはここ数年全く同じで、先頭の吉田（昭55）がいきなりセンター前のクリーンヒットで出塁した。続く鈴木（平14）の当たりはセカンド後方の飛球。捕球できずも2塁フォースアウト。しかし、坂田（平15）がお見事の流し打ちでライトオーバーしてまず1点。岡（平15）もきれいにセンター前へはじき返してすばらしいOB側の攻め。岡は1,2塁間に挟まれるも、その間に3塁から坂田が2点目のホームイン。さらに川崎（平21）も左へ二塁打で出塁したが、

続く平川（昭63）の三遊間へのゴロを深いところで捕った現役ショート中谷が見事な送球でアウトとしOBの攻撃を2点で止めた。もったいぶるようですが、この後の詳細は年明けまでには掲載できるよう努力しますのでしばらくお待ちください。今年の試合も、昨年の試合に負けず劣らずの好ゲームであったことだけを記します。昨年も書きましたが、親睦試合とはいえ、しまった試合ができるのはOBの方の日頃の鍛練の賜。来年もまた、体調を整えて集まってください。

	1	2	3	4	5	6	7	計
O B	2	3	3	0	1	1	?	?
現 役	5	2	0	0	1	1	?	?

試合後は恒例の皿うどんパーティー。何かと思いが



多い集会場はすでに解体済み。今年は柏葉会館の研修室が下村 脩博士顕彰記念館に改装されていたため、探し出した場所が全学のサークルセンターの1室。初めての場所ではあったが、いつものごとく終わったばかりの試合の話で盛り上がりながら、今年のOB会を終えた。

OBの皆さん。また来年お会いしましょう。

追記：野球部HPに詳しいOB戦レポートがありますので、本記事と併せて是非ご覧ください。<http://www.ph.nagasaki-u.ac.jp/dousou/club/baseball/homebase.shtml>

第25回薬学硬式庭球部OB会

11月7日、8日の二日間、今年で記念すべき第25回目を迎える薬学硬式庭球部OB会を開催いたしました。

7日は松山の市営庭球場でOB対現役生による対抗戦を行いました。先週はかなり冷え込んだため、寒さも心配されましたが、この日は天気にも恵まれ、暖かい絶好のテニス日和でした。

石黒先生、山本先輩（院昭55）、松原先輩（昭58）、西田先生を始めとする先輩方がお忙しい中都合をつけて頂き、多くの試合をすることができました。今年は、山本先輩の中学校の同級生であり、テニス部発足時にテニスのご指導を頂いた百武さんと、卒業後久々の参加となられた松下先輩（平2）の参加が特筆すべきことではないでしょうか。試合結果は、例年通りOB、OGの圧勝でした。体力では負けていないはずの現役生ですが、先輩方の技術と経験の前では、やはりまだまだで、さらに練習が必要ということだと思います。各試合後には、対戦

瀧口 徹（平21）

したOB、OGの方からご助言を頂き、現役生にとっては大変有意義な経験となりました。

対抗戦後は、懇親会を宝来軒別館で行いました。参加者はOB、OG、現役生合わせて60名にのぼり大盛会となりました。会には、芳本先生にも出張の合間を縫って参加頂き、顧問時代の朝練のお話などを伺うことができました。芳本先生は今年度でご退職ということで、記念の花束贈呈も行われました。その後は、現役生の自己紹介、OBの方々のお話と進み、現役生にとってはテニスについて、また普段は聞けないような仕事についてのお話を聞いた貴重な時間であったと思います。

長崎大学薬学硬式庭球部OB会も節目の25回を迎え、これからもさらに発展していくことと思われます。今年は残念ながら出席できなかった先輩方もご都合がつかましたら、来年のOB会に是非ご参加下さい。現役一同、心よりお待ちしております。



薬学軟式庭球部 OB 会・OB 戦

12月5日、6日に薬学軟式庭球部 OB 会・OB 戦を開催いたしました。

初日の5日は市内銅座町の銀鍋で OB 会を行いました。ご多忙のため都合が合わない先輩方がほとんどだったのですが、昨年よりも多くの先輩方が都合をつけて出席して下さい、とても楽しい会となりました。先輩方の学生時代の話や、今どのようなことをなされているのか等、談笑を交えながら聞くことができました。居酒屋工房居ざけ屋で行った2次会にもたくさんの先輩方が参加して下さい、OB の方々とより親睦を深めることができた会だったと思います。

翌日の6日は長崎大学の全学硬式庭球部のコートで OB 戦を行いました。今年は残念ながら先輩方の都合が合わず OB の参加者はいらっしゃらなかったため、現役

森塚 暁裕 (学部3年)

生でミックスダブルスの部内総当たり戦を行いました。普段行わない総当たり戦ということもあり、寒い曇り空にもかかわらず白熱した試合ができました。結果は前部長のペアが優勝し、現部長である私は6ペア中5位と、情けない結果となりました。来年こそはいい試合ができるように、より精進していこうと思います。

長崎大学薬学軟式庭球部員も年々増加の一途をたどり、OB 総勢約300名となりました。毎年頂いている OB からの近況報告のなかに、今年もたくさんの激励のお言葉を頂いており、非常に感謝しています。今回出席して下さい先輩方、残念ながら出席できなかった先輩方、ご多忙だとは思いますが、もし来年都合がつかましたら、是非ご参加下さい。現役生一同、心よりお待ちしております。

